



Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。

2014年3月期 決算説明会

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

2014年5月9日

- 決算概要（連結・単体）
- 事業の動向
- 重点施策とトピックス

連結決算概要

2014年3月期：連結決算のポイント

- ◆ 2014年3月期通期では、第3四半期に続き**増収増益**を達成
- ◆ 連結売上高は1,053億円と、**初の1,000億円台**
- ◆ 通期で売上高・当期純利益が**予想を上回る結果**
- ◆ 各事業領域とも順調に推移し、**営業利益は前年比19.5%増加**
- ◆ 特別利益の発生により、**当期純利益は前年比2.5倍に**
- ◆ **スマートデバイス向け広告**が引き続き伸長
- ◆ アイレップ、ユナイテッド、北京DACを始め、**グループ各社の業績好調**

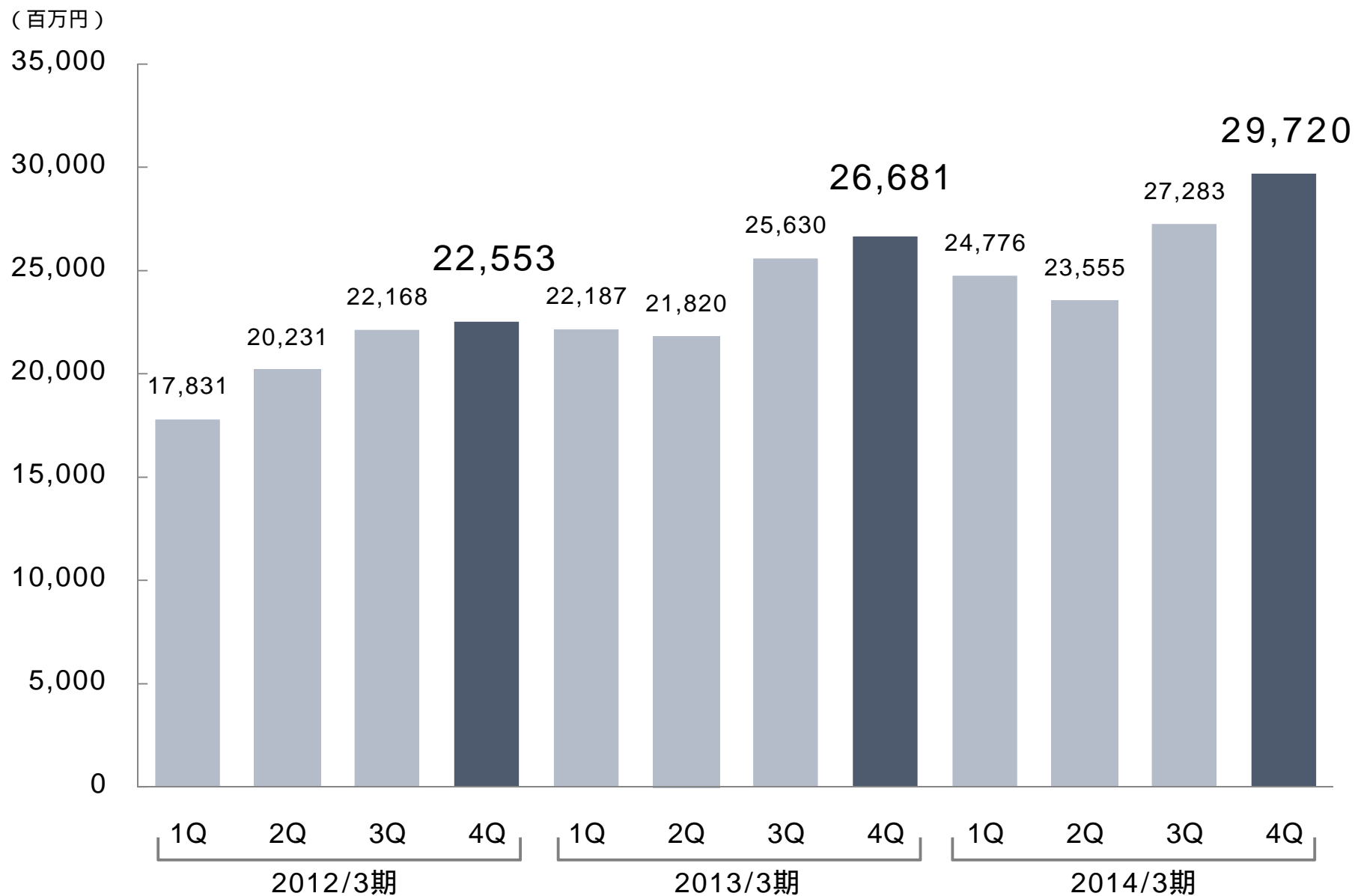
2014年3月期 第4四半期 決算ハイライト：四半期・累計共に増収増益を達成

(百万円)

	FY2013 (2014年3月期)			
	4Q (四半期)		4Q (累計)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	29,720	111.4%	105,335	109.4%
売上総利益	4,052	108.8%	14,392	101.4%
営業利益	686	108.8%	1,980	119.5%
当期(四半期) 純利益	893	321.4%	2,022	251.4%
EBITDA	876	102.6%	2,791	108.7%
OM率()	16.9%	±0pt	13.8%	+2.1Pt

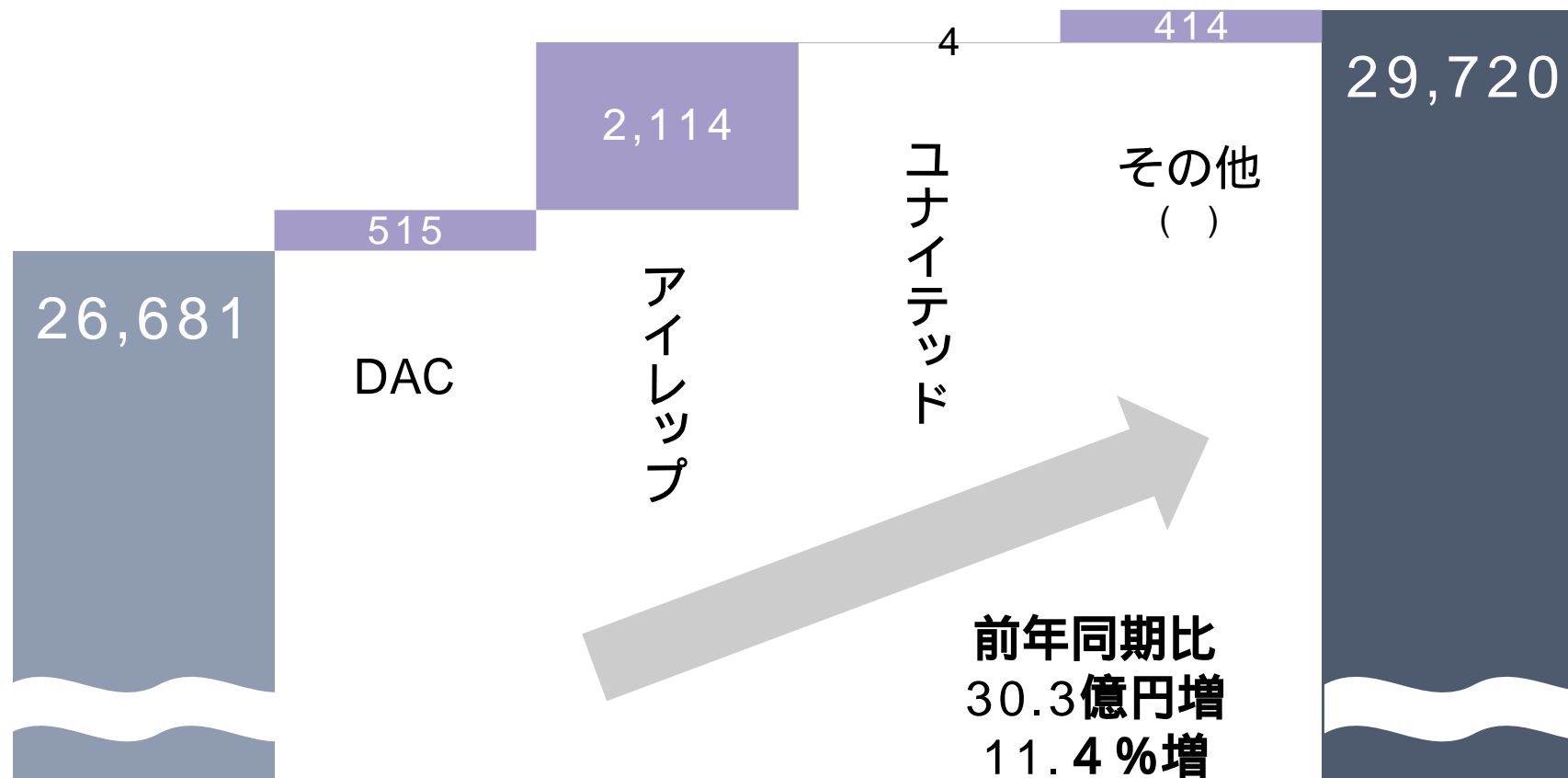
() オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

四半期売上高の推移（連結）：3Qに続き過去最高を記録



2014年3月期 第4四半期 連結売上高増減要因（対前年同期比）

（単位：百万円）

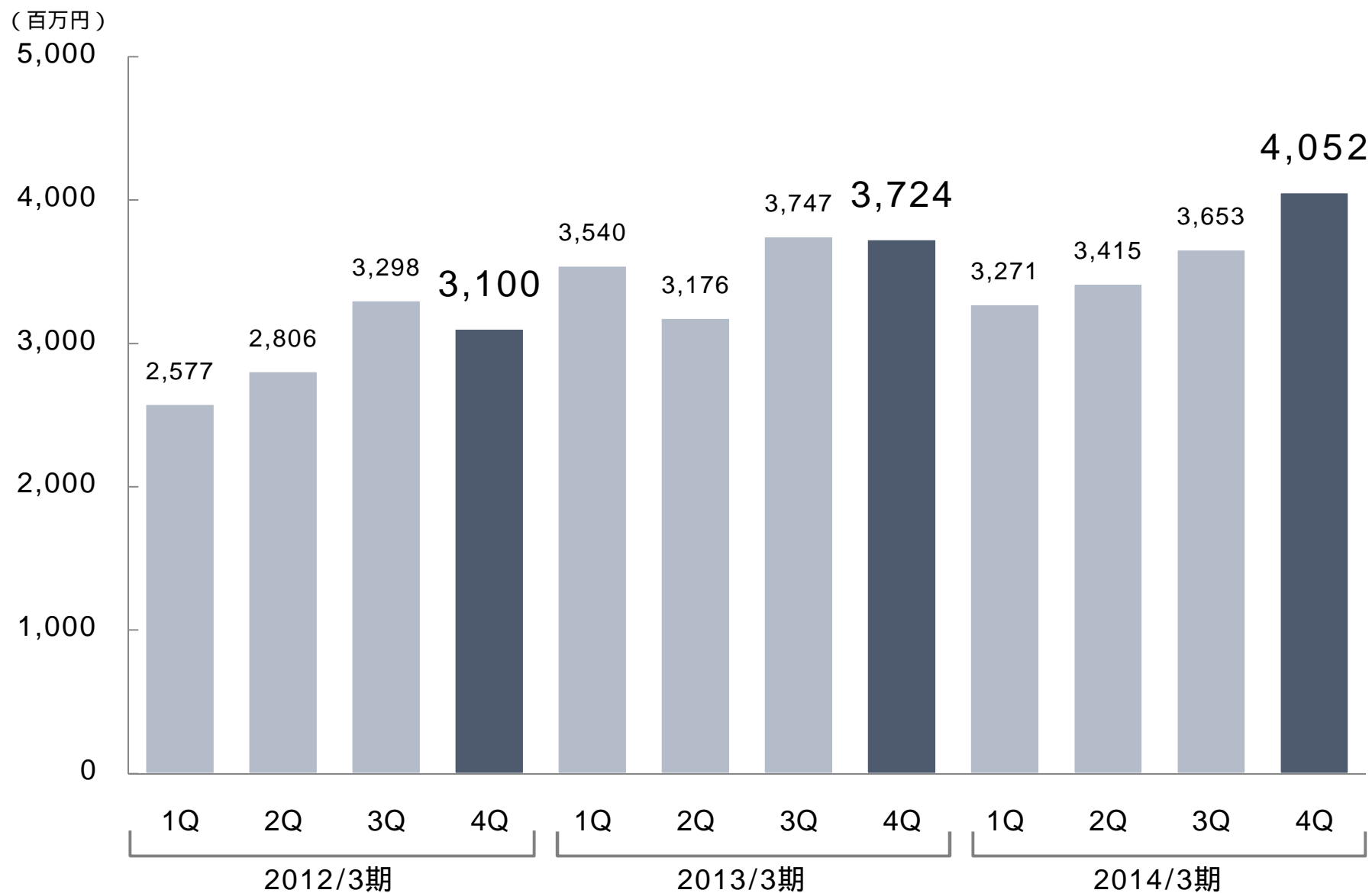


2013年3月期4Q

2014年3月期4Q

() その他には、グループ間取引消去が含まれています。

四半期売上総利益の推移（連結）：過去最高を記録



事業領域別の状況（連結）：各ソリューションとも好調

売上高	2013年3月期通期 (2012/4～2013/3)		2014年3月期通期 (2013/4～2014/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	95,766	99.2	105,319	99.8	110.0
エージェント・ソリューション	85,869	88.9	94,088	89.2	109.6
メディア・ソリューション()	11,194	11.6	13,099	12.4	117.0
ソリューション間消去	1,296	-1.3	1,867	-1.8	-
インベストメント事業	796	0.8	162	0.2	20.4
合計	96,563	100.0	105,482	100.0	109.2

売上総利益	2013年3月期通期 (2012/4～2013/3)		2014年3月期通期 (2013/4～2014/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	13,634	96.1	14,282	99.2	104.7
エージェント・ソリューション	8,486	59.8	8,737	60.7	103.0
メディア・ソリューション()	5,182	36.5	5,642	39.2	108.9
ソリューション間消去	33	-0.2	97	-0.7	-
インベストメント事業	553	3.9	110	0.8	19.9
合計	14,188	100.0	14,392	100.0	101.4

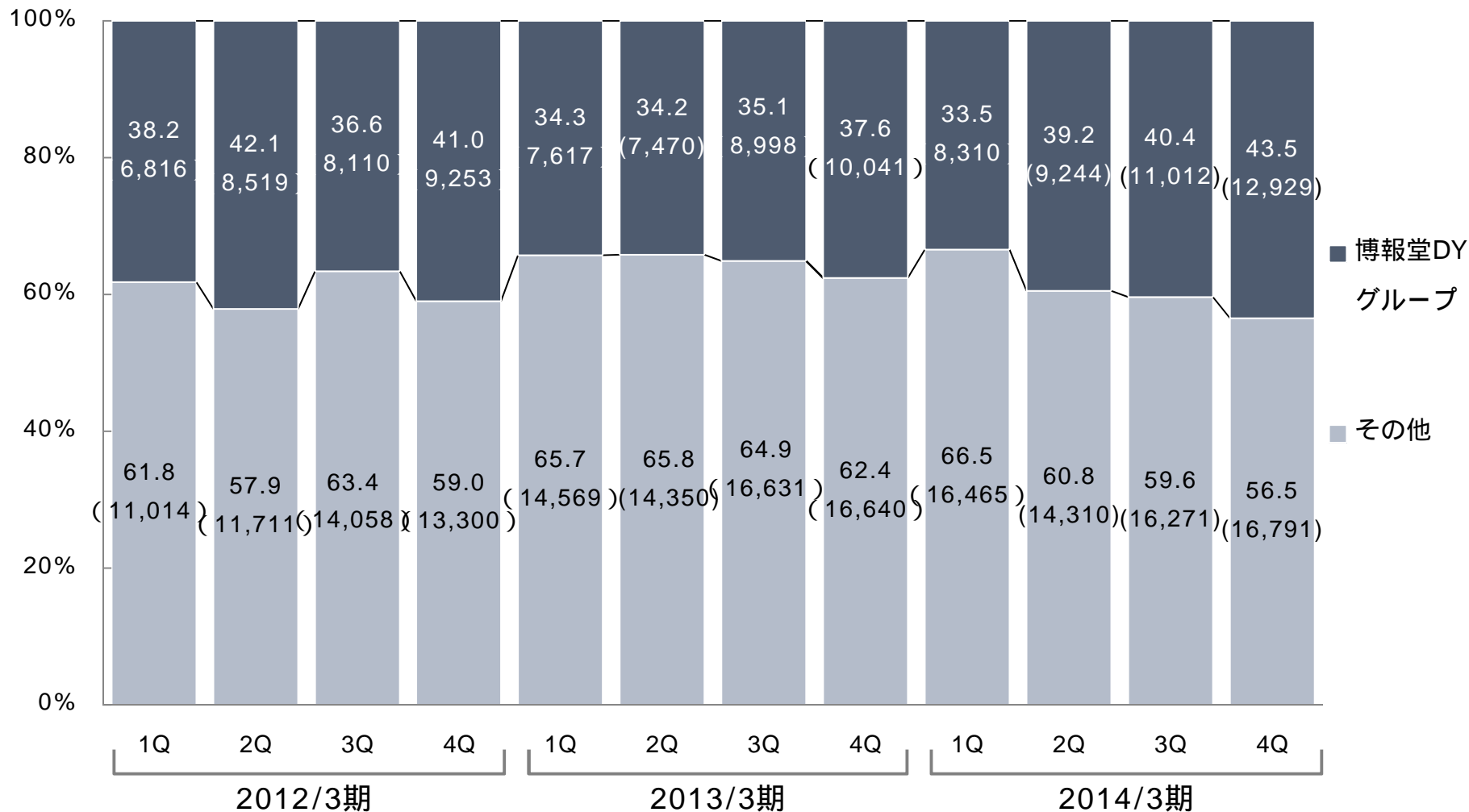
()メディア・ソリューションに含まれるメディア売上高については、エージェント・ソリューションとの比較のために売上高をグロス数値に換算しているため、会計上の数値とは異なっております。

広告会社別の売上高（連結）：博報堂DYグループ向けが伸長

	2013年3月期通期 (2012/4～2013/3)		2014年3月期通期 (2013/4～2014/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
博報堂DYグループ	34,128	35.4	41,497	39.4	121.6
その他	62,191	64.6	63,838	60.6	102.6
合計	96,319	100.0	105,335	100.0	109.4

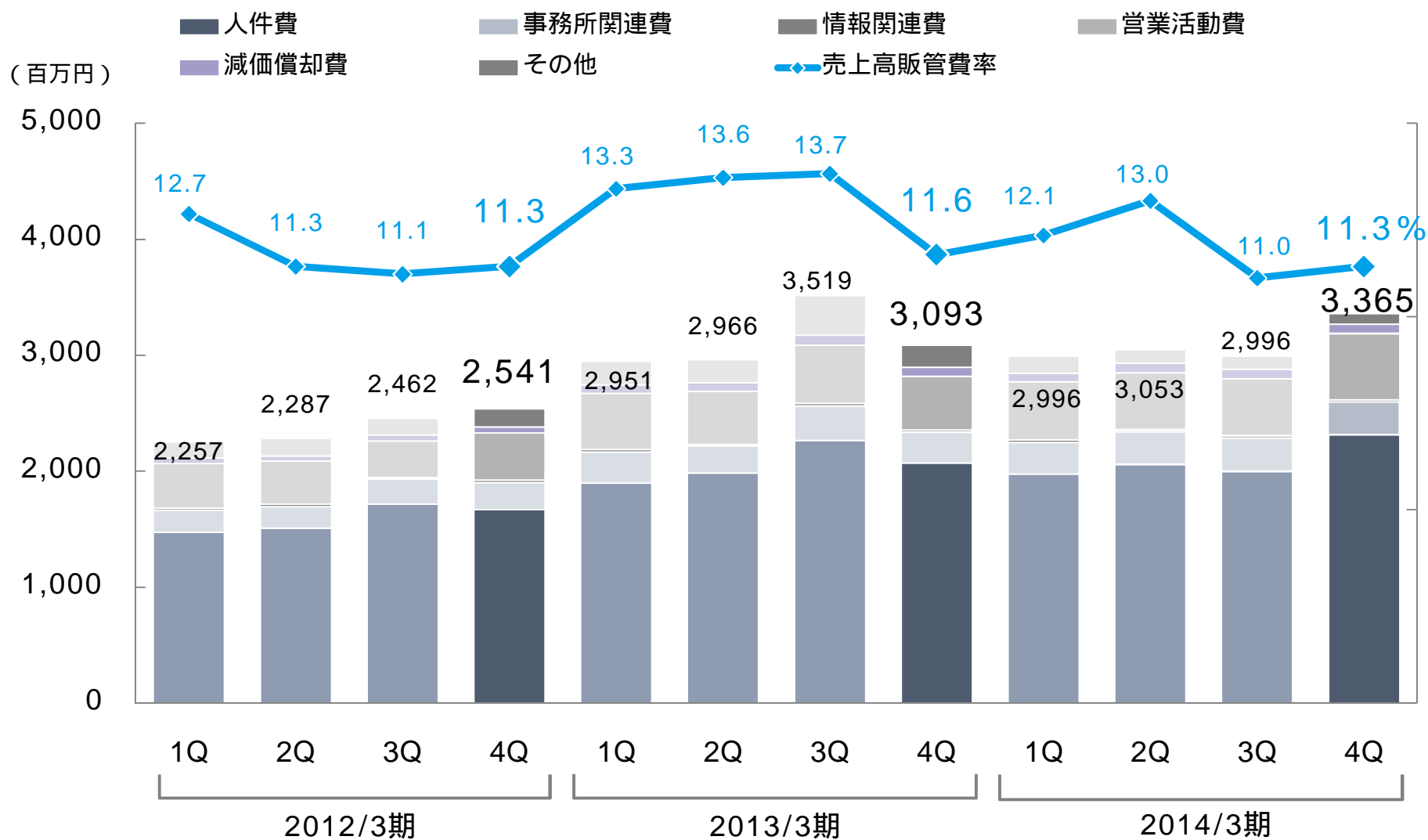
広告会社別売上高 構成比推移（連結）：博報堂DYグループ割合が増加

（単位：％ / 百万円）



() カッコ内は四半期ごとの広告会社別売上高の数値

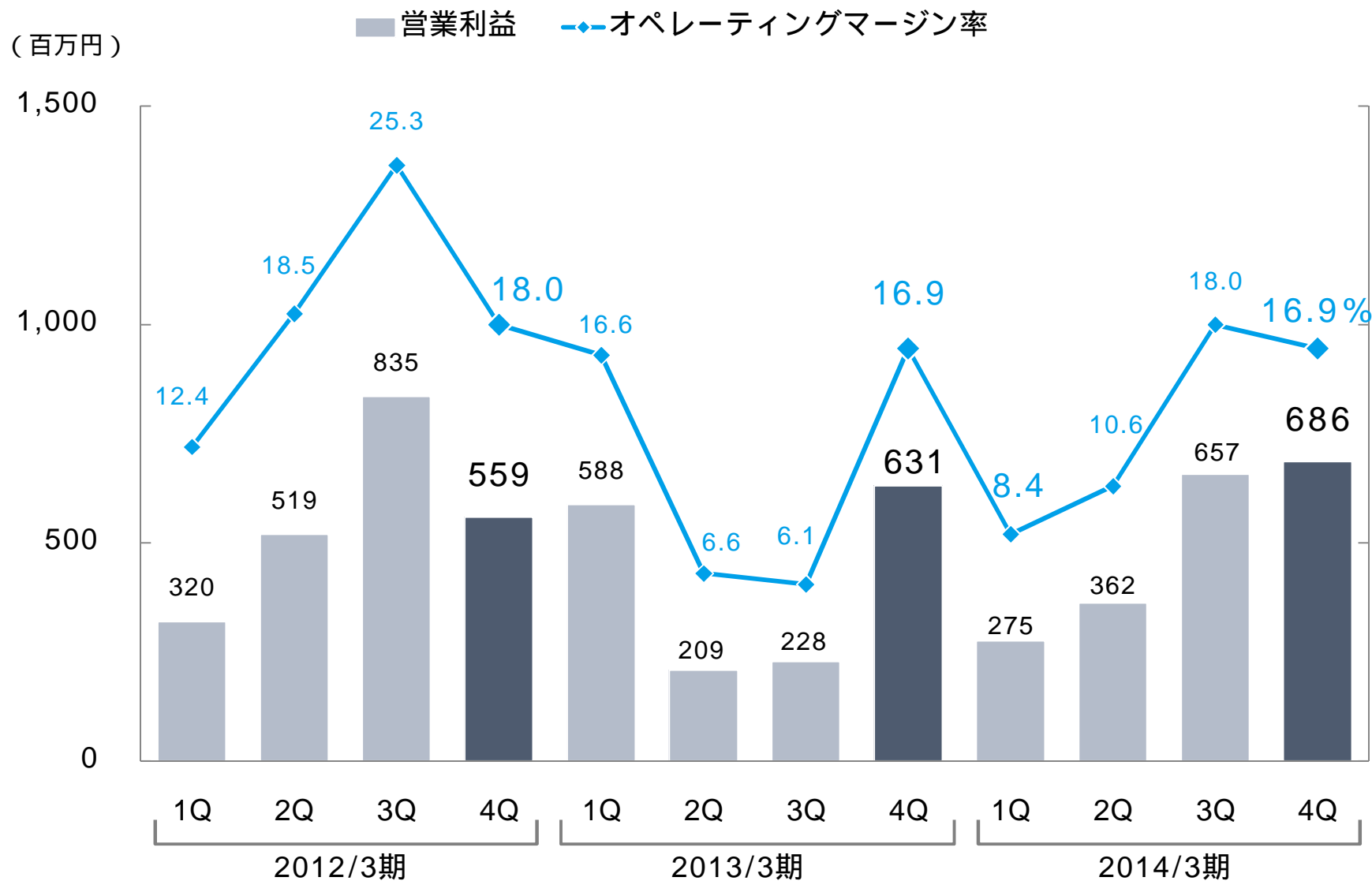
四半期販管費の推移（連結）：販管費率は11%台でほぼ変わらず



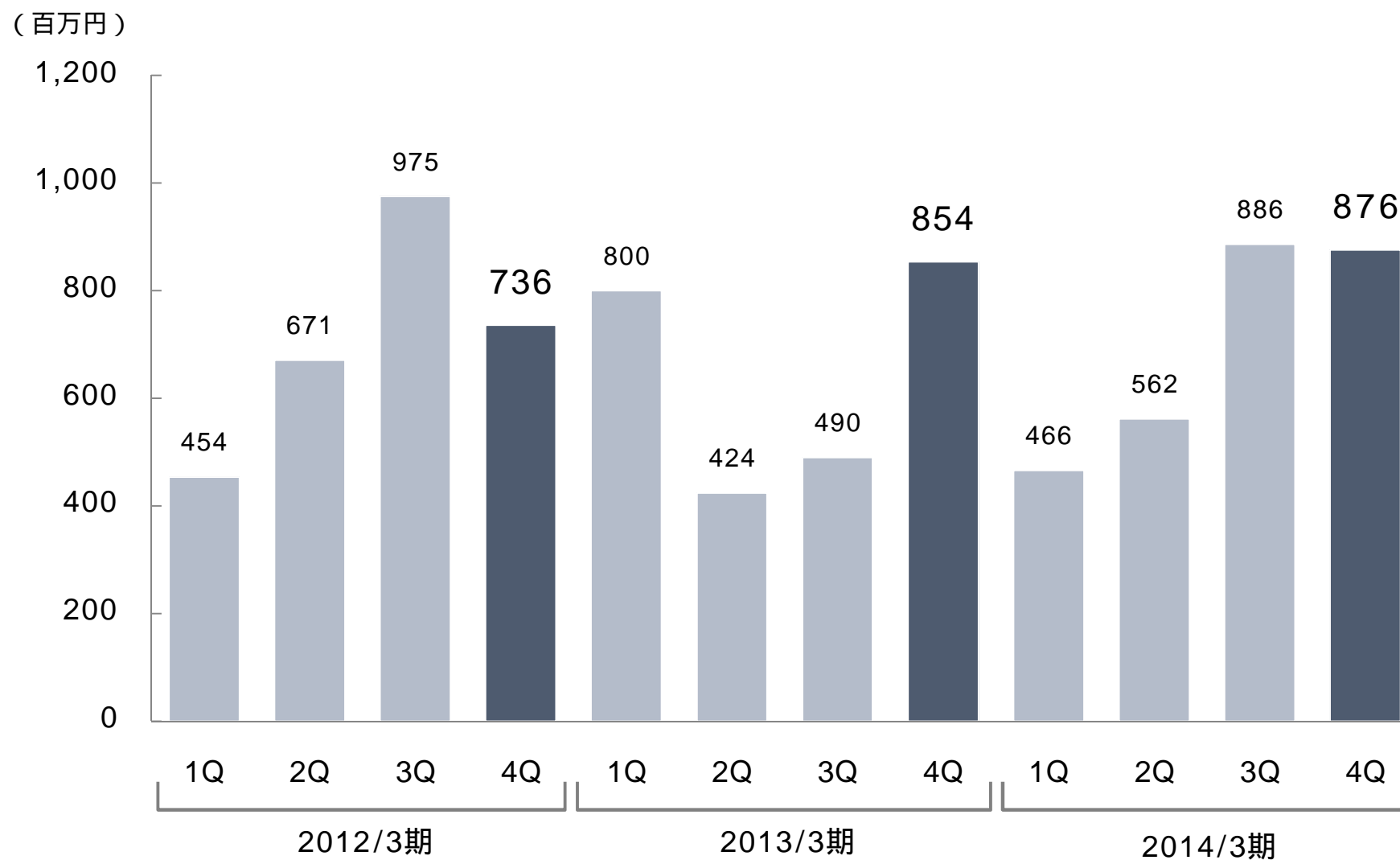
役職員数 1,689名 → 1,784名

() 当社ならびに子会社の取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数

四半期営業利益の推移（連結）：前年同期と同比率



四半期EBITDAの推移（連結）：前年同期を上回る



() EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

2014年3月期 通期業績予想と結果（連結）：売上高・純利益は予想を上回る

（百万円）

【累計】

	2014年3月期通期（予想） （2013/4～2014/3）	2014年3月期通期（実績） （2013/4～2014/3）	
			前年同期比
売上高	103,415 ～ 104,968	105,335	109.4%
営業利益	1,673 ～ 2,020	1,980	119.5%
経常利益	1,730 ～ 2,077	2,017	118.4%
当期（四半期）純利益	1,280 ～ 1,568	2,022	251.4%
1株当たり純利益（円）	26.37 ～ 32.30	41.66	-

【四半期】

	2014年3月期4Q（予想） （2014/1～2014/3）	2014年3月期4Q（実績） （2014/1～2014/3）	
			前年同期比
売上高	27,799 ～ 29,352	29,720	111.4%
営業利益	379 ～ 726	686	108.8%
経常利益	425 ～ 773	712	113.7%
当期（四半期）純利益	151 ～ 439	893	321.4%

貸借対照表（連結）

	2013年3月期末 (2013/3末)		2014年3月期末 (2014/3末)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年期末比 (%)
流動資産	24,859	79.3	29,739	79.3	119.6
固定資産	6,485	20.7	7,760	20.7	119.7
資産合計	31,344	100.0	37,499	100.0	119.6
流動負債	14,011	44.7	16,829	44.9	120.1
固定負債	860	2.7	624	1.7	72.6
負債合計	14,871	47.4	17,454	46.5	117.4
株主資本	11,029	35.2	12,764	34.0	115.7
少数株主持分	4,931	15.7	6,433	17.2	130.4
その他	511	1.6	847	2.3	165.7
純資産合計	16,472	52.6	20,045	53.5	121.7
負債・純資産合計	31,344	100.0	37,499	100.0	119.6

(主な増加/減少要因)

流動資産：現金及び預金の増加
固定資産：投資有価証券の増加

流動負債：短期借入金の増加
純資産合計：利益剰余金の増加

キャッシュフロー計算書（連結）

（百万円）

	2014年3月期 (2013/4 ~ 2014/3)
営業活動によるキャッシュフロー	1,512
投資活動によるキャッシュフロー	1,660
財務活動によるキャッシュフロー	3,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	115
現金及び現金同等物の増減額	3,543
現金及び現金同等物の期首残高	6,595
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	157
現金及び現金同等物の期末残高	9,982

主な営業活動によるキャッシュフロー

・税金等調整前当期純利益	4,010百万円
・減価償却費	577百万円
・関係会社株式売却益 (投資キャッシュフローに表示)	1,411百万円
・持分変動益	696百万円
・仕入債務の増加	622百万円

主な投資活動によるキャッシュフロー

・定期預金の預入・払い戻し	565百万円
・投資有価証券の取得による支出	1,013百万円
・無形固定資産の取得による支出	648百万円
・関係会社株式の取得による支出	991百万円
・関係会社株式の売却による収入	1,577百万円

主な財務活動によるキャッシュフロー

・短期借入金の増加	1,850百万円
・新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,491百万円
・ストックオプションの行使による収入	288百万円
・配当金の支払額	291百万円

2015年3月期 第1四半期 業績予想（連結）

（百万円）

	2014年3月期1Q（実績） （2013/4～2013/6）	2015年3月期1Q（予想） （2014/4～2014/6）	前年同期比
売上高	24,776	27,421～28,415	111%～115%
営業利益	275	224～292	82%～106%
経常利益	283	222～288	78%～101%
当期（四半期） 純利益	17	83～108	462%～599%

単体決算概要

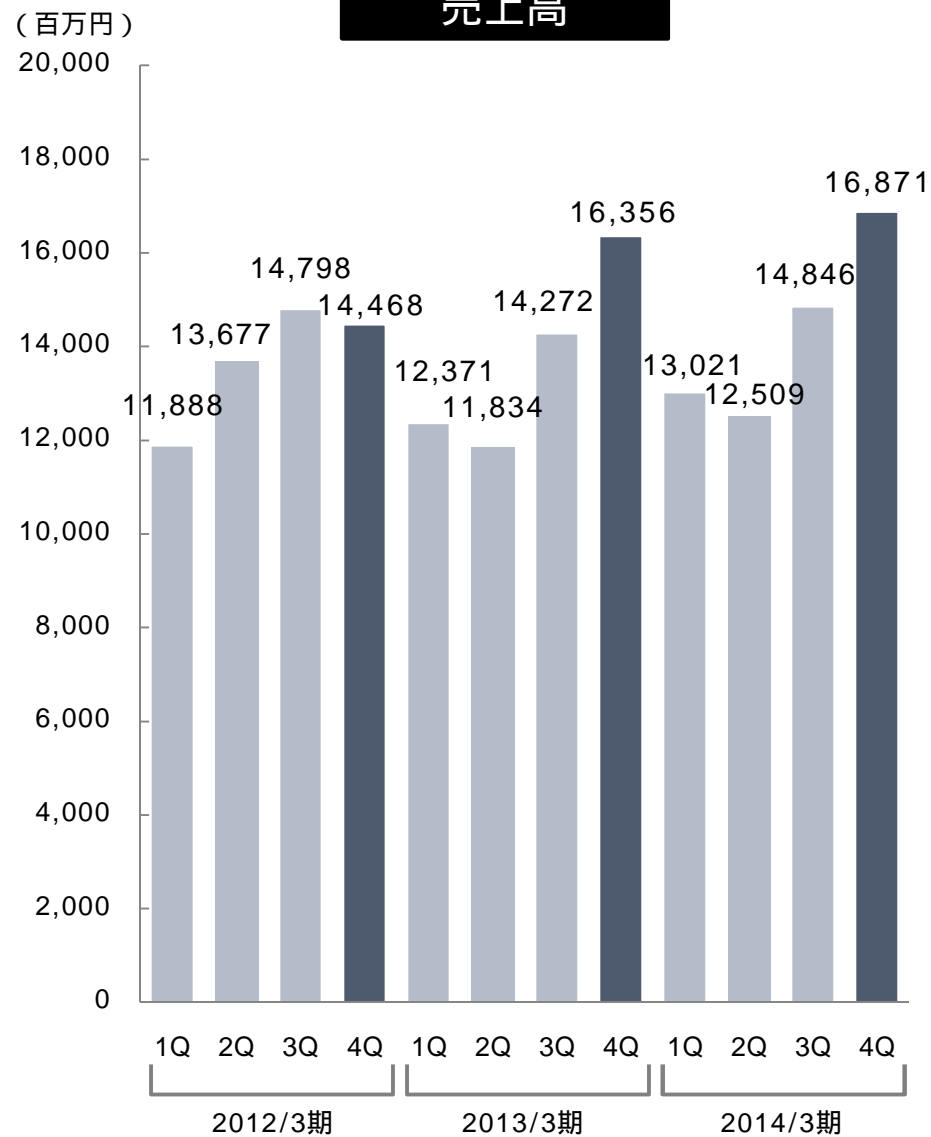
2014年3月期 第4四半期 単体決算ハイライト

(百万円)

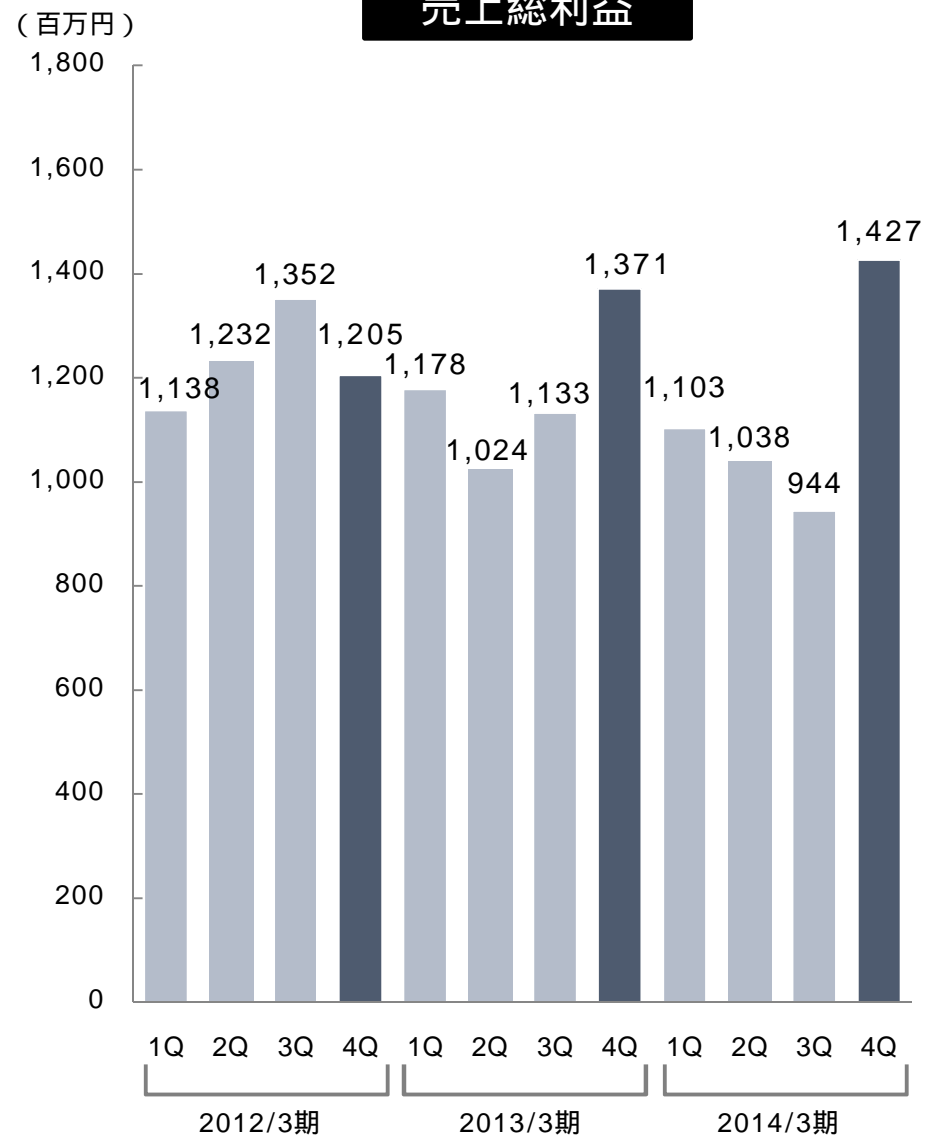
	FY2013 (2014年3月期)			
	4Q (四半期)		4Q (累計)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	16,871	103.1%	57,249	104.4%
売上総利益	1,427	104.0%	4,513	95.9%
営業利益	334	100.6%	333	47.5%
当期(四半期) 純利益	140	74.7%	401	62.8%

売上高・売上総利益の推移（単体）：ともに過去最高を記録

売上高



売上総利益



サービス別の状況（単体）

売上高	2013年3月期通期 (2012/4~2013/3)		2014年3月期通期 (2013/4~2014/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	52,606	95.9	54,608	95.4	103.8
テクノロジーサービス	1,956	3.6	2,344	4.1	119.8
オペレーションサービス	272	0.5	296	0.5	108.9
合計	54,835	100.0	57,249	100.0	104.4

売上総利益	2013年3月期通期 (2012/4~2013/3)		2014年3月期通期 (2013/4~2014/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	3,632	77.2	3,365	74.6	92.7
テクノロジーサービス	877	18.6	923	20.5	105.2
オペレーションサービス	198	4.2	224	5.0	113.3
合計	4,707	100.0	4,513	100.0	95.9

事業の動向

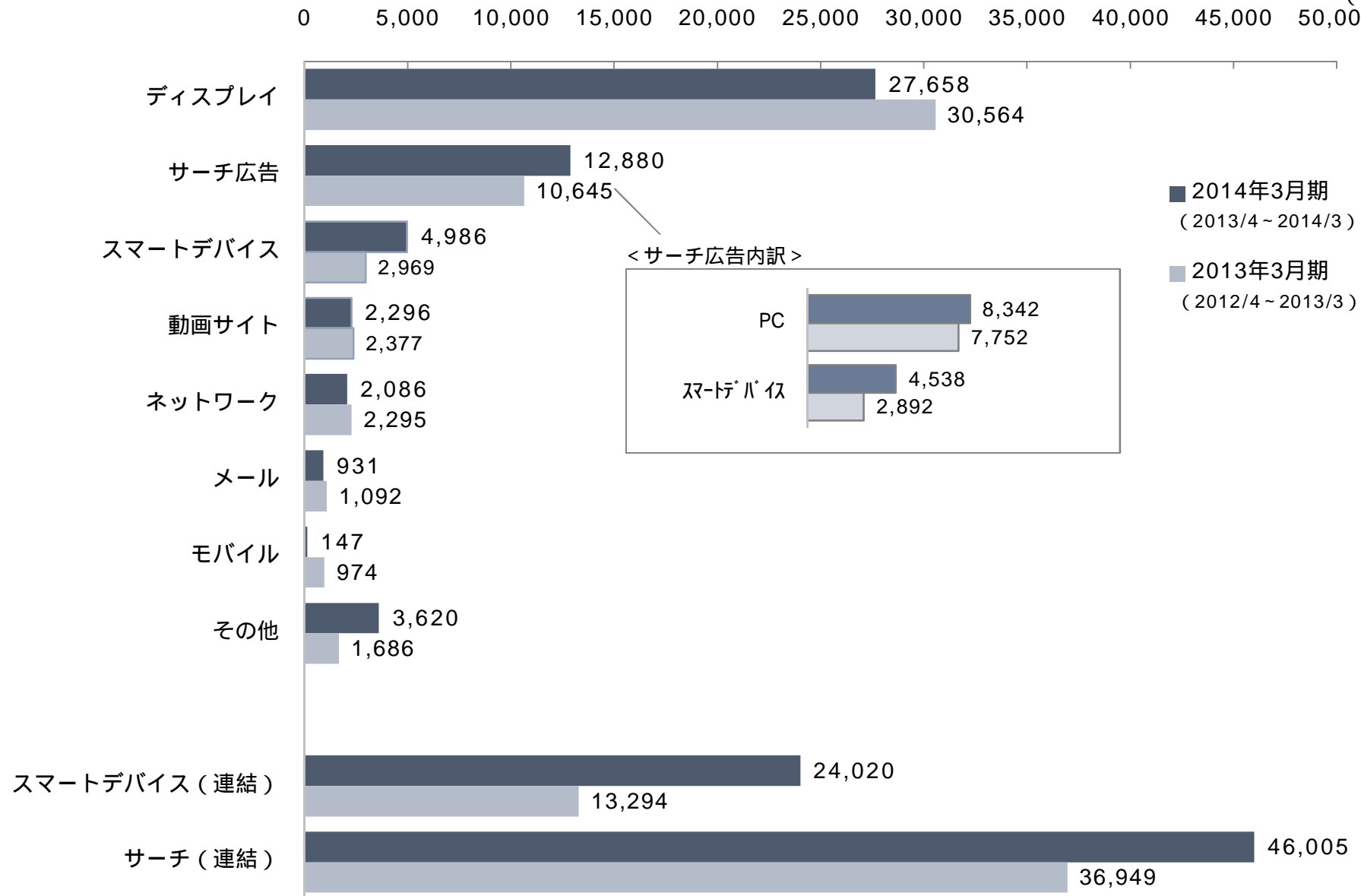
媒体メニュー別売上高・出稿件数・平均単価（単体）

	2013年3月期通期 (2012/4～2013/3)			2014年3月期通期 (2013/4～2014/3)		
	売上高 (百万円)	出稿件数 (件)	平均単価 (千円)	売上高 (百万円)	出稿件数 (件)	平均単価 (千円)
ディスプレイ	30,564	32,992	926	27,658	30,195	916
動画サイト	2,377	2,711	877	2,296	2,489	922
サーチ広告	10,645	21,218	501	12,880	20,927	615
*サーチ(PC)	7,752	-	-	8,342	-	-
*サーチ(スマートフォン)	2,892	-	-	4,538	-	-
スマートデバイス	2,969	4,771	622	4,986	6,689	745
モバイル	974	2,548	382	147	650	227
ネットワーク	2,295	17,899	128	2,086	20,697	100
メール	1,092	2,087	523	931	1,886	493
その他	1,686	4,105	403	3,620	4,194	863
合計	52,606	88,331	595	54,608	87,727	622

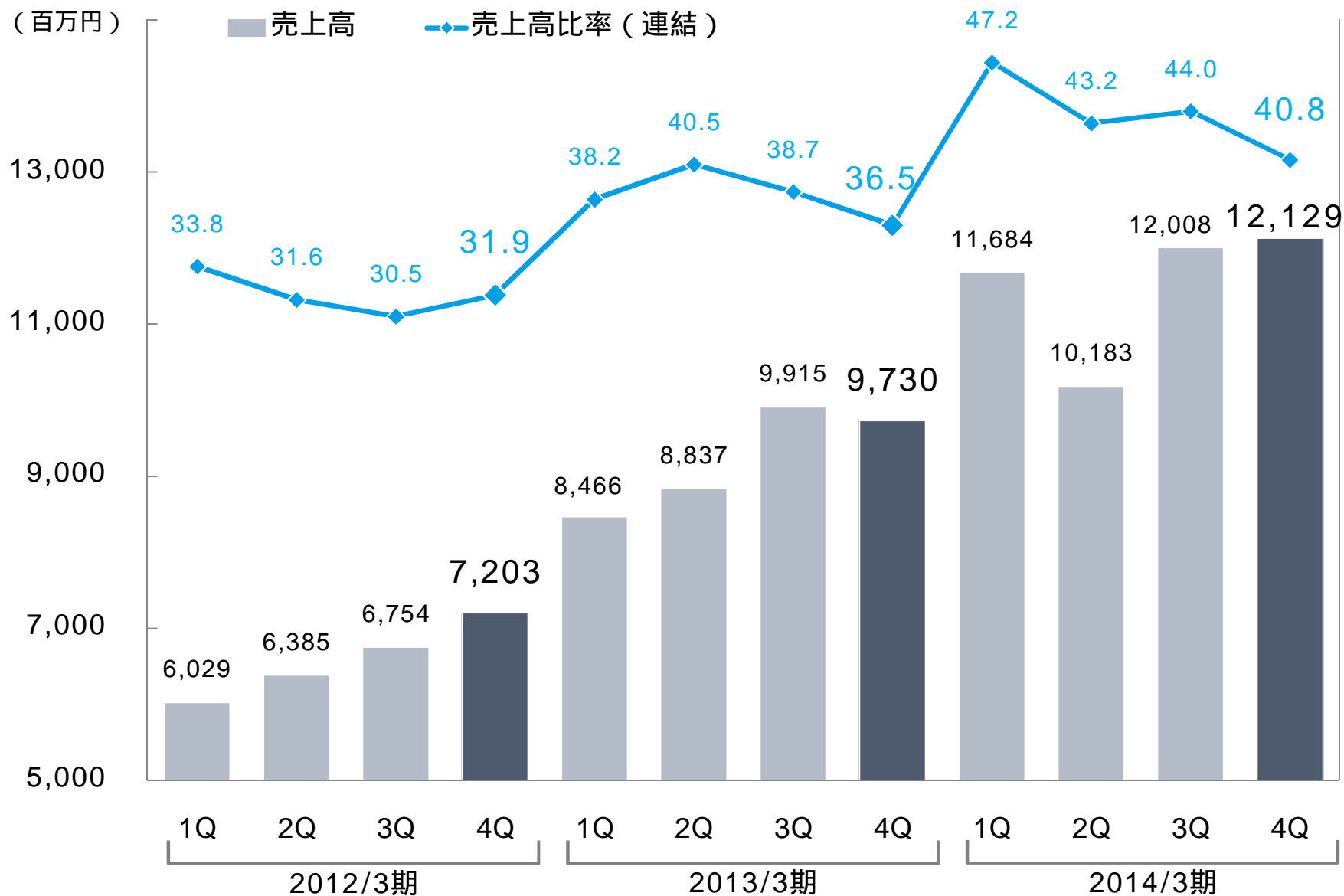
() 出稿件数、平均単価は社内管理上の集計数値となります。

媒体メニュー別売上高：スマートデバイス・サーチ好調

(百万円)

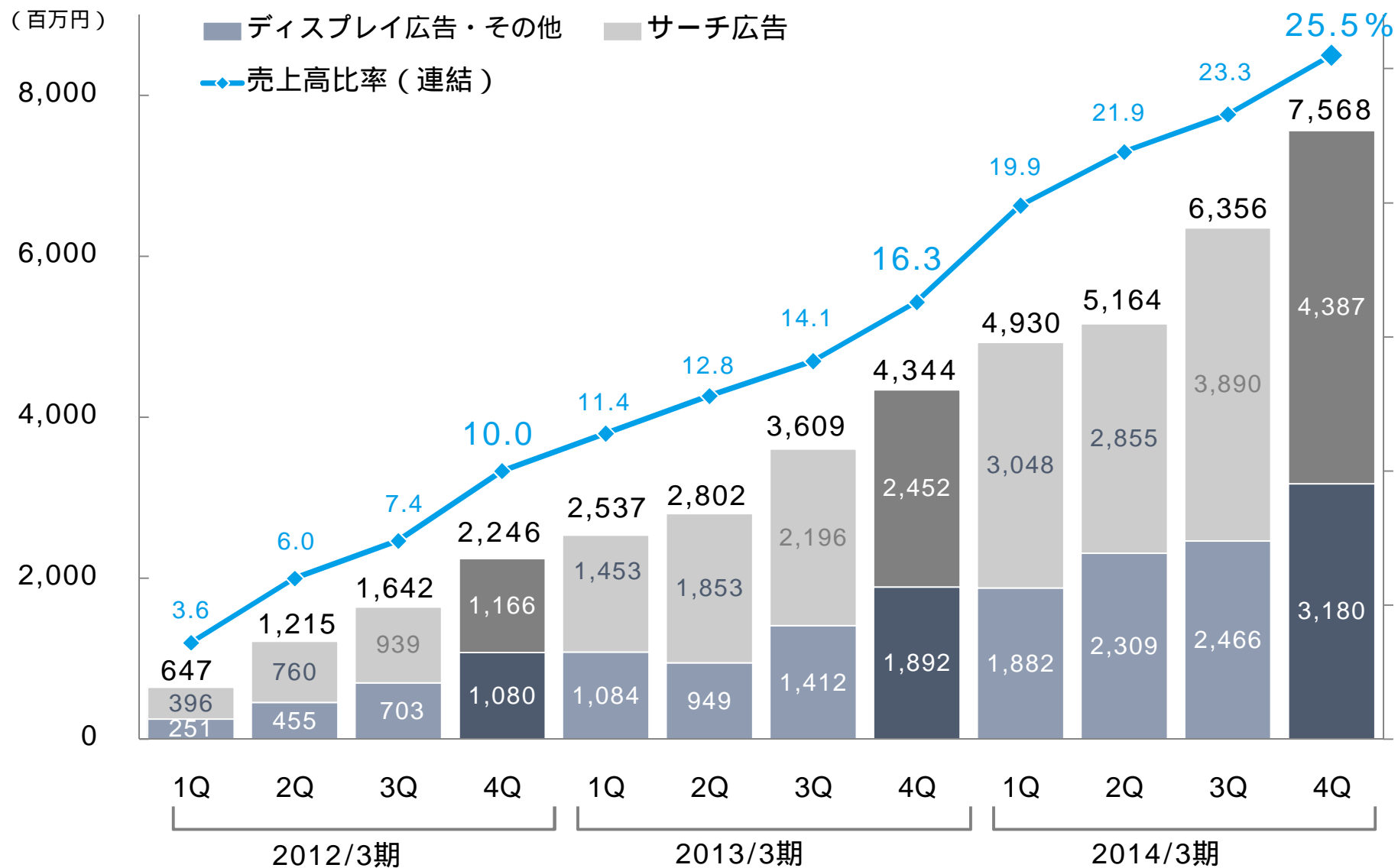


サーチ広告の推移（連結）：売上高は各四半期で前年より増加



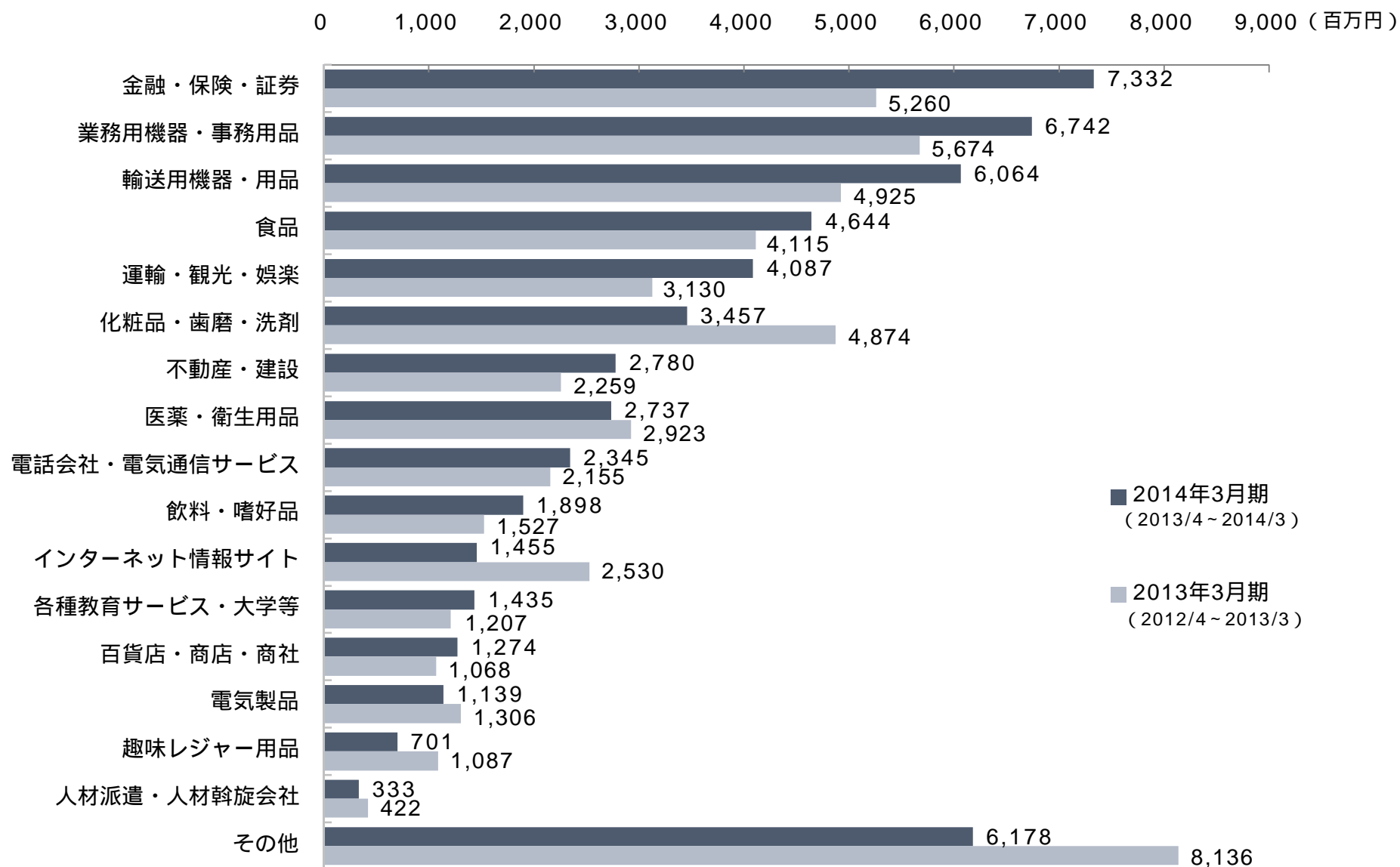
() 売上高には、SEOも含まれます

スマートデバイス広告の推移（連結）：順調に拡大



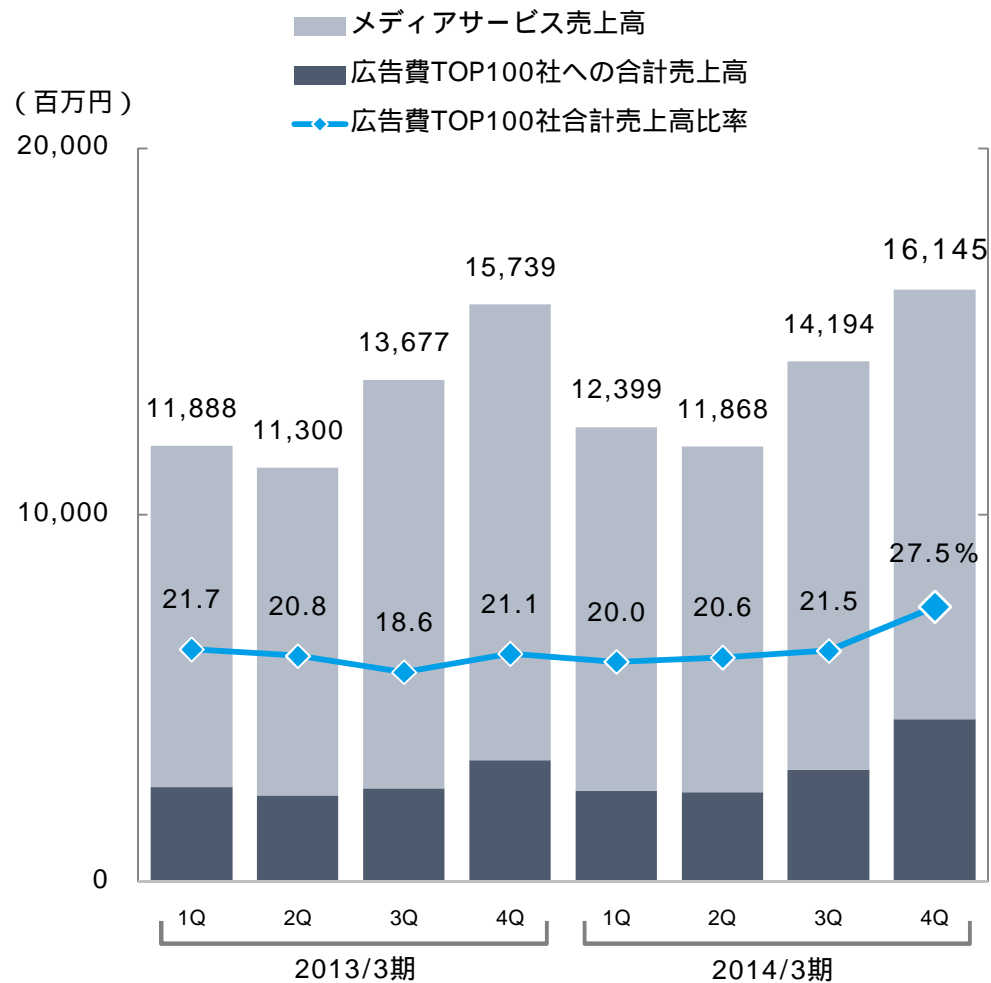
() その他には、主にアフィリエイト広告が含まれています。

業種別売上高（単体）：「金融・保険・証券」が大きく伸長

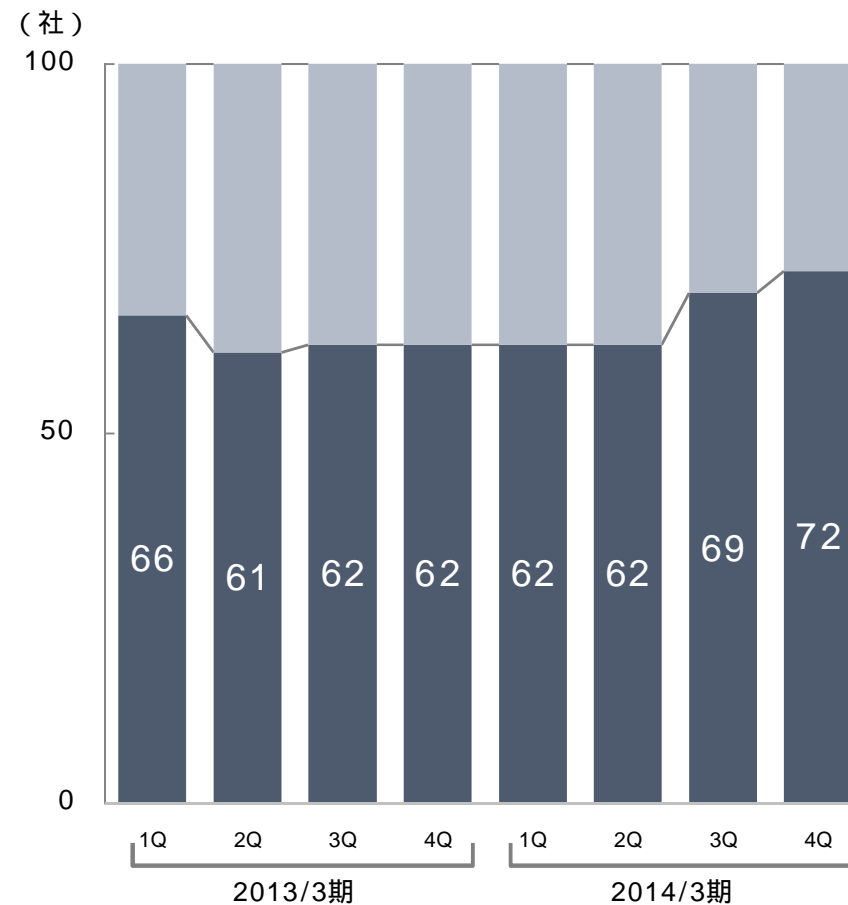


大型広告主の動向

◆ 大型広告主に対する売上高の推移












◆ 大型広告主取扱社数の推移



() 広告費TOP100社には、日経広告研究所「有力企業の広告宣伝費」の広告宣伝費上位100社を使用しております。

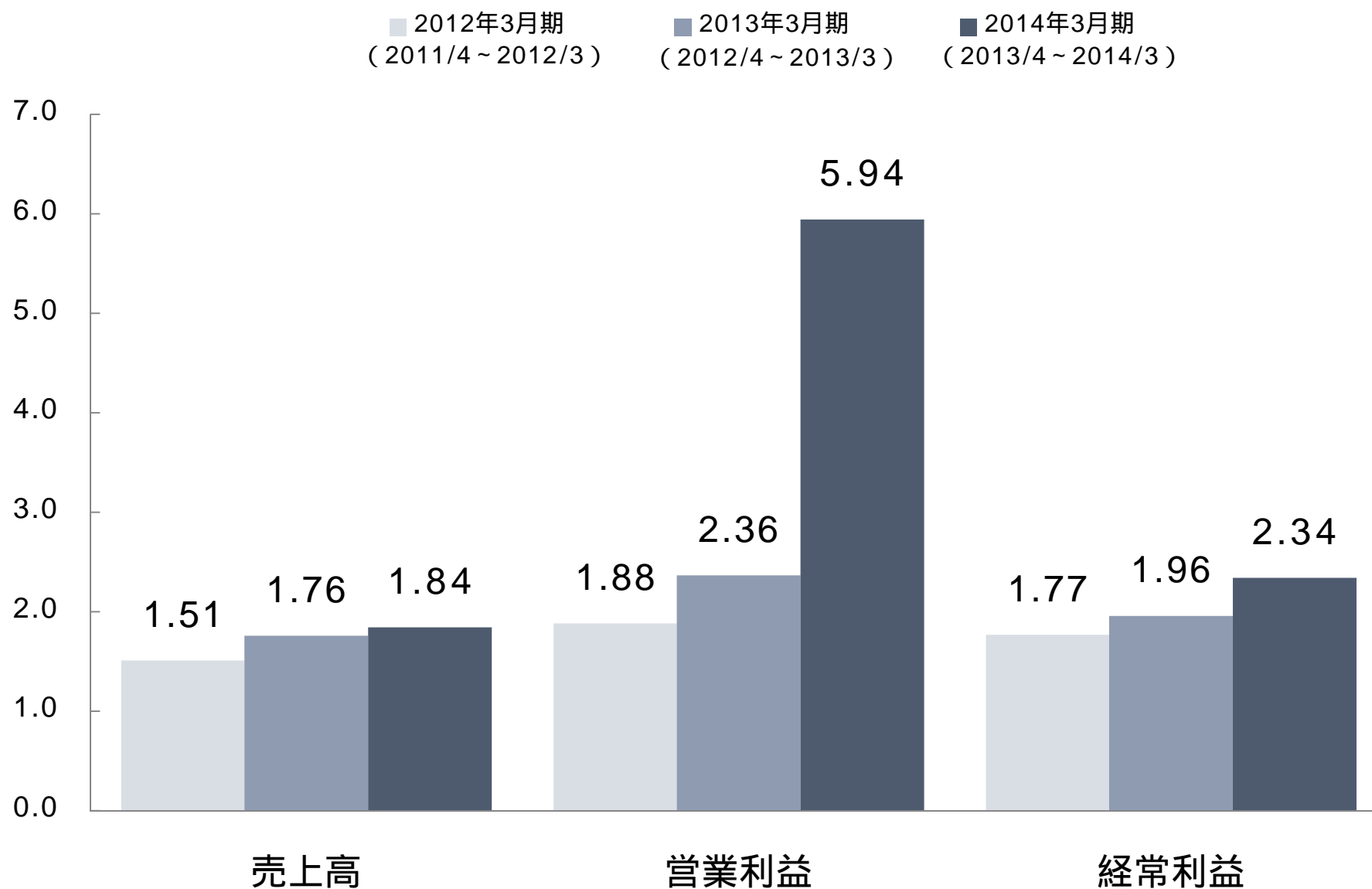
連結子会社の動向

◆ 連結子会社の前年同期比較（累計）

事業領域	ロゴマーク	社名	動向	
			売上高	営業利益
エージェント ソリューション	 irep	アイレップ	↗	↗
	 PLATFORM ONE	プラットフォーム・ワン	↗	↘
	 MODULO	モデュール	↘	↘
	 ADPRO	アド・プロ	↗	↘
	 D.A.C Beijing	北京迪愛慈广告有限公司	↗	↗
	 D.A.C Asia	DAC ASIA PTE. LTD.	—	—
	 UNITED	ユナイテッド	↗	↗
メディア ソリューション	 HAKUHODO i-studio	博報堂アイ・スタジオ	↗	↗
	 TORCHLIGHT	トーチライト	↗	↗

() ユナイテッドの前年同期はモーションピートと比較しております。

連単倍率



(空白)

重点施策とトピックス

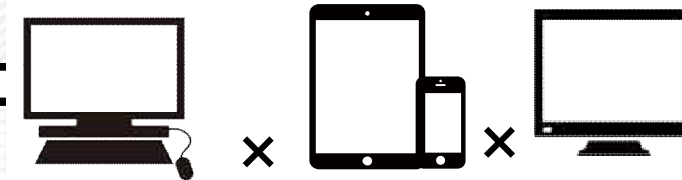
2014年3月期の注力分野と重点施策

新広告フォーマット

新フォーマット化による
動画広告・リッチ広告市場
成長への貢献

マルチデバイス

あらゆるメディアの“**スマート化**”
PC + スマートデバイス + スマートTV
3デバイス【マルチデバイス】環境
への取組み



『リザベーションバイイング』
+
『**プログラマティックバイイング**』
『**オーディエンスデータマネジメント**』
対応の強化

中国、ASEAN等新興市場での成長

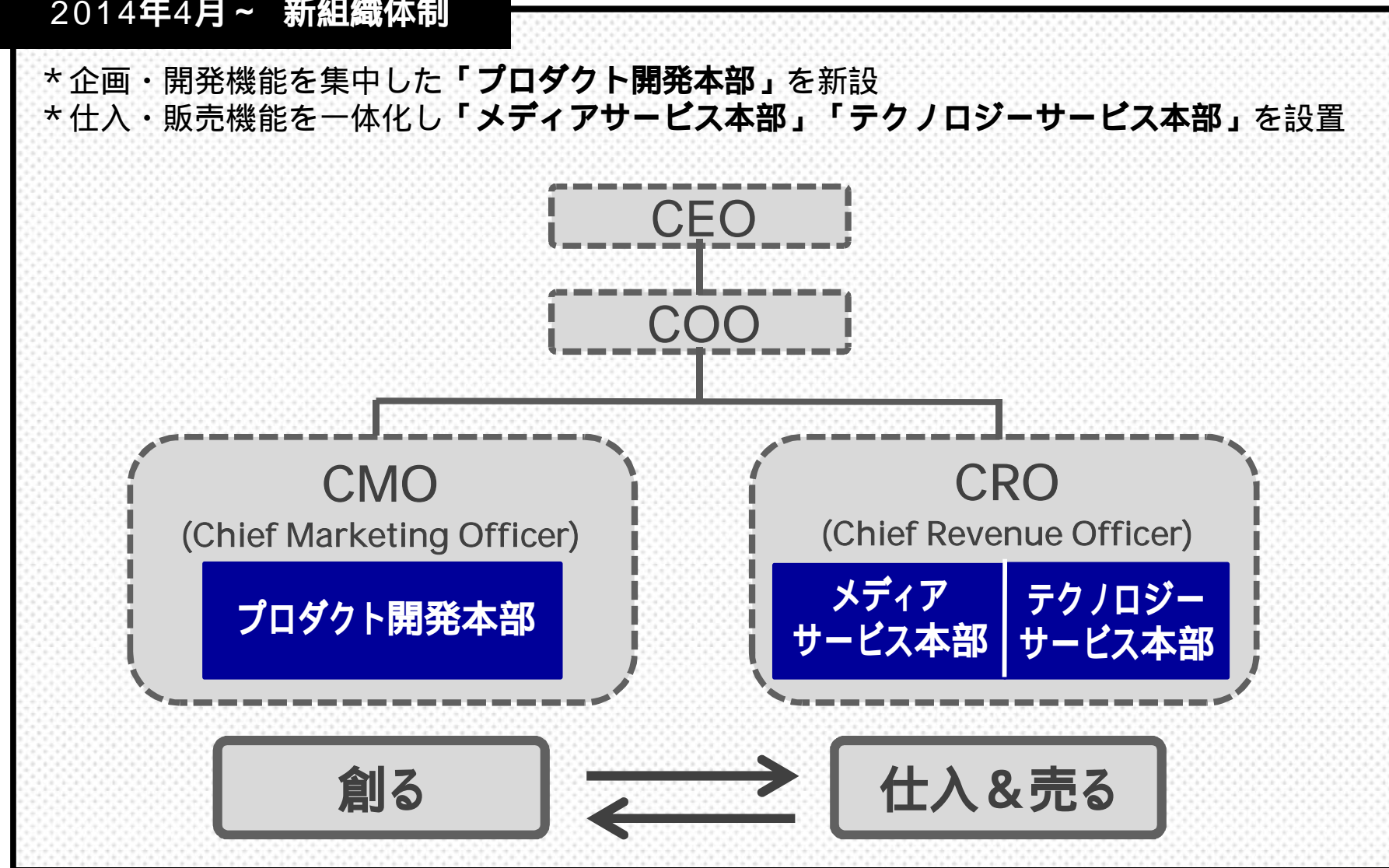
新広告取引

グローバル

注力分野強化のため新組織体制を構築

2014年4月～ 新組織体制

- * 企画・開発機能を集中した「**プロダクト開発本部**」を新設
- * 仕入・販売機能を一体化し「**メディアサービス本部**」「**テクノロジーサービス本部**」を設置



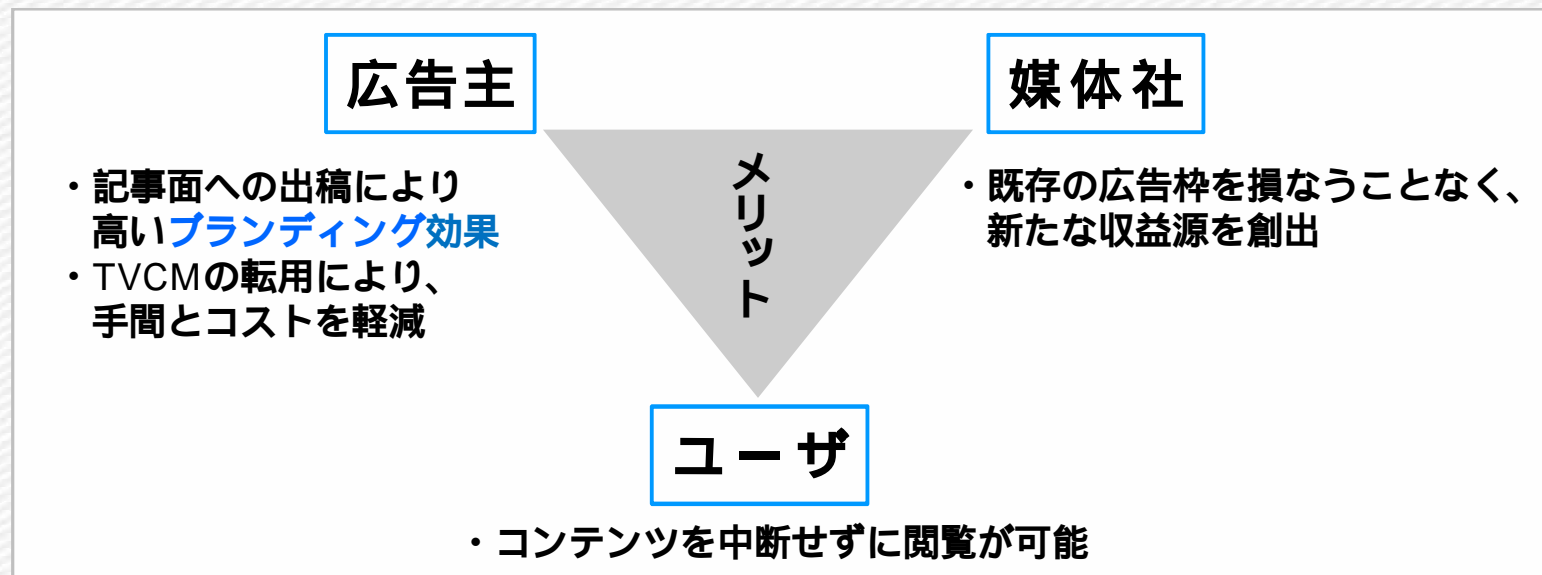
新広告フォーマットの開発：動画広告・リッチ広告市場成長への貢献

動画広告フォーマット：インリードビデオ™

記事内動画広告動画配信ソリューション

通常の記事の中に動画広告を掲載（インリード）できることで
全てのWEBサイトが動画広告の配信対象に

動画広告・リッチ広告市場の拡大へ

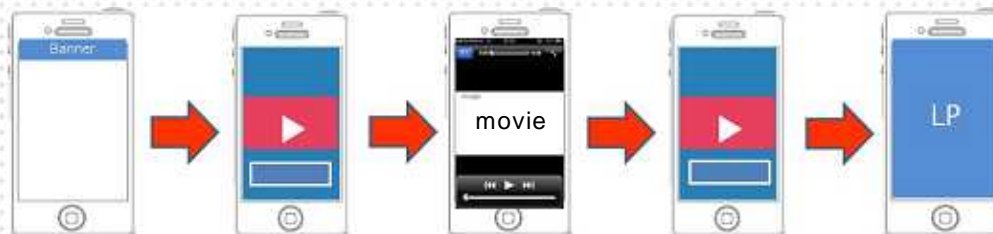


http://webdemo.dac.co.jp/FlexOne/function/HIF/In-Read/customer/Asahi/20140303-0316_Gucci_SportsSite.html

3 デバイス対応：マルチデバイス環境に先駆けた広告商品開発

スマートデバイス向け動画広告フォーマット

Yahoo! JAPANとスマートフォン向けリッチ広告商品を共同開発
『スマートフォン版Yahoo!ニュース スマートディスプレイ エキスパンドスクリーン』




バナーをタップするとエキスパンドパネルが表示
再生ボタンをタップするとムービーが再生
リンクをタップするとランディングページに遷移

<特徴> DAC独占提供スマートデバイス向けプラットフォーム
「Crisp Engage™」使用

リッチでクリエイティブな表現が可能に


新広告市場への対応：運用型新市場への対応を更に強化

グループ各社での運用型新市場への対応

 **D.A.C Consortium**


グループ企業の連携を更に強化

トレーディングデスク 機能の拡充と最適配置
プログラマティック推進局 を新たに設置
(メディアサービス本部内)

 **irep**


運用型広告 での絶対的ナンバーワンエージェンシーへ

Real Time Bidding

 PLATFORM ONE		 UNITED
DSP		SSP
	↔	
	↔	

DSP/SSPの更なる拡販により、
RTBナンバーワンソリューション提供

スマートフォンRTB広告国内最大級
更なる成長へ

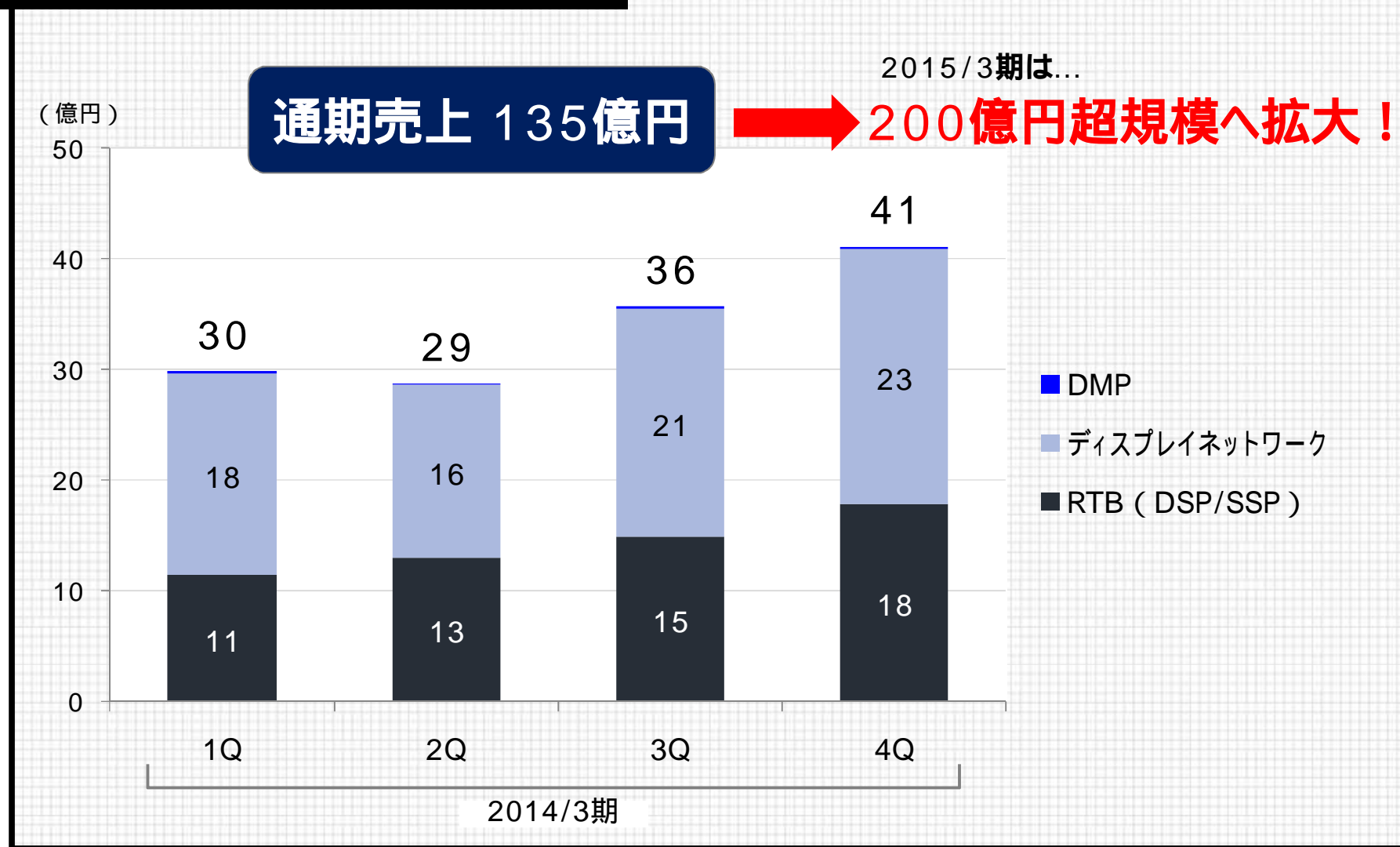
 **Audience One®**

Data Management Platform

“Audience One®”によるデータ収集・分析・活用強化
海外を見据えた拡販

新広告市場への対応：運用型新市場への対応を更に強化

DACグループの運用型新市場 売上規模



《リリース》新統合プラットフォーム FLEX ONE[®] 提供開始へ

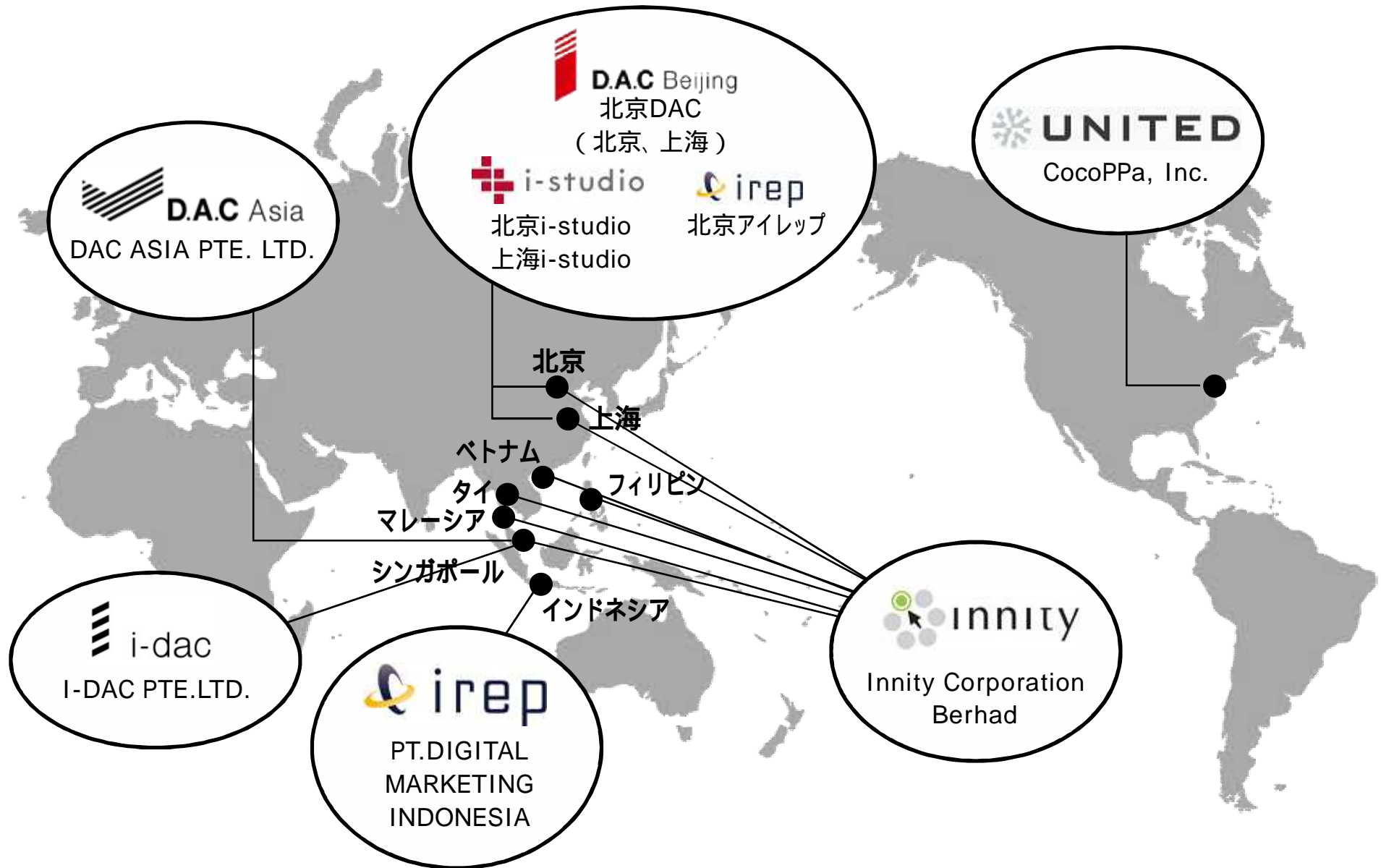
資本提携により世界最先端アドテクノロジーによる広告取引・配信インフラを開発・提供へ



媒体社向け 新統合プラットフォーム“FlexOne[®]”
インターネットの新しい広告フォーマットに対応、媒体社の広告収益を最大化へ



グローバル対応：中国は順調に拡大、ASEAN各国へ展開





2014年3月期 決算説明会

ご清聴誠にありがとうございました。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

J Q 4 2 8 1 <http://www.dac.co.jp>

戦略統括本部 社長室

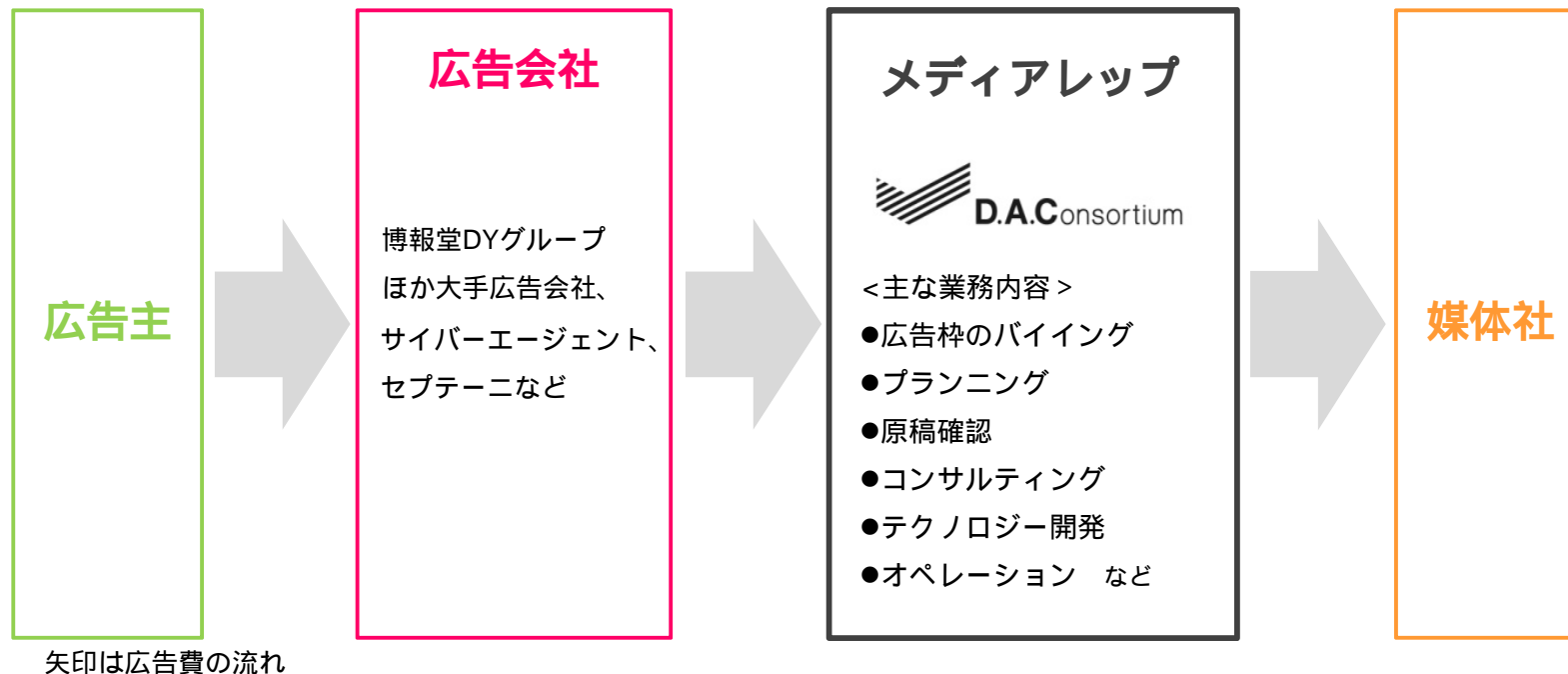
T E L : 03-5449-6300

2014年5月9日

ご参考

事業：インターネット広告業界の『メディアレップ』

インターネット広告取引に関するあらゆるサービスを提供



コンソーシアム体制

博報堂DYグループをはじめとした、
大手の有力な広告会社による
共同出資体制

+

インターネット広告のメディアレップ

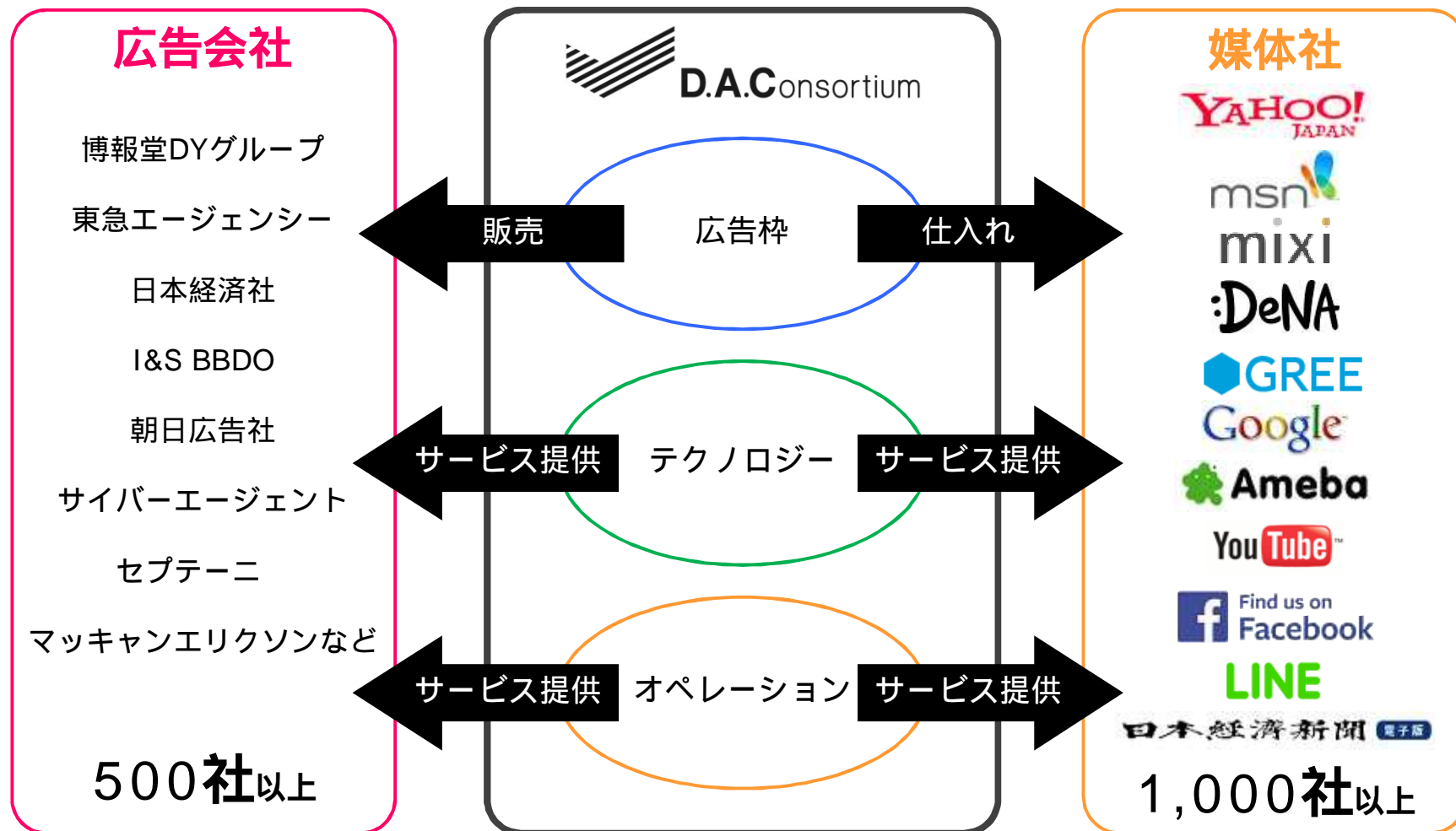
媒体社と広告会社の間で、
インターネット広告取引に関わる
あらゆるサービスを提供

当社を核にグループでサービスを提供



() 上記3領域には重複する部分があり、グループ各社は複数の領域において事業を展開しております。
 なお、2014/4月より下記連結子会社の主要な事業領域区分を変更しております。
 トーチライト：DAS領域 エージェント領域、 モデューロ：エージェント領域 DAS領域

具体的なサービス



主なグループ会社（2014年3月31日現在）

区分	ロゴマーク	社名	保有比率	事業内容<上場市場>
主要な連結子会社		アイレップ	57.7%	リスティング広告、SEO、Web解析などのSEM関連サービス事業 <東証JASDAQ>
		ユナイテッド	43.7%	スマートフォンを柱としたメディア事業と広告プラットフォーム事業を柱としたRTB 広告事業を展開<東証マザーズ>
		博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における制作業務、システム開発業務、CRM業務
		プラットフォーム・ワン	100.0%	オンライン広告取引のプラットフォームサービスの提供
		モデュール	93.1%	アドネットワーク事業及びデータマネジメント事業
		アド・プロ	100.0%	インターネット広告におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理 業務
		トーチャライト	100.0%	ソーシャルグラフィマーケティングの総合支援サービス (ソリューション&プロデュースサービス)
		北京迪愛慈广告有限公司	50.1%	中国におけるインターネット広告事業
		DAC ASIA PTE. LTD.	100.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リ サーチ、グループ各社のアジア進出の支援
		I-DAC PTE. LTD.	51.0%	東南アジア地域で統合デジタルマーケティングソリューションを提供
主要な持分法適用会社		メンバーズ	19.1%	ウェブインテグレーション、インターネット広告代理事業等を通じたネットビジネス運 営代行<名証セントレックス>
		スパイスボックス	34.4%	デジタル・コミュニケーション・デザインにおけるマーケティング及びコンサルティング
		デジタルプティック	38.2%	インターネットにおけるコミュニティサイトの企画、制作、運営代行などの各種サー ビス事業
		Innity Corporation Berhad	25.1%	東南アジア地域でのオンライン広告取引のプラットフォーム及びアドネットワークの 運営<マレーシア証券取引所>
		ALBERT	17.8%	分析力をコアとし、独自開発のレコメンドエンジンや広告最適化ソリューションを 提供
		アドイノベーション	18.0%	スマートフォン向けマーケティング事業、スマートフォン向けプラットフォーム事業、メ ディアコンサルティング事業

() 間接保有含む

主な出資先（2014年3月31日現在）

区分	ロゴマーク	社名	事業内容 < 上場市場 >
その他の出資会社		オウチーノ	不動産サイトの企画・制作・運営および広告代理事業<東証マザーズ>
		Origami	東京とニューヨークを拠点に、次世代のeコマースプラットフォームのソフトウェアを開発
		ココア	3D仮想空間サービス「meet-me」の運営
		デジタルカタパルト	PC・モバイル向けにコミック等のデジタルコンテンツを制作・配信
		データスタジアム	スポーツデータコンテンツ
		ビデオリサーチインタラクティブ	ネット広告視聴率調査、広告配信サーバ
		BrandXing	マーケティング、CRMコンサルティング
		ボルテージ	デジタルコンテンツ企画制作<東証一部>
		mediba	モバイルメディアレップ、企画、編成、制作
		ゆめみ	モバイルサービスの企画・開発・運営・コンサルティング

Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。

ネットビジネスのエキスパートとして培った経験と技術力を活かし、事業の拡大、デジタル社会の発展に貢献

Our Mission

- 刻々と変化するデジタル社会の未来に、活力を与えること。
- これからのデジタル社会をよりアクティブにし、デジタルの更なる可能性を切り拓いていくこと。
- 人と人、企業と企業がデジタルを通じてめぐり逢い、共に新しい夢を描ける社会をつくっていくこと。

本資料のご利用にあたって

本資料は、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社の事業及び業界動向についてのデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2014年5月9日現在において利用可能な情報に基づいて、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社により2014年5月9日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、販管費内訳、サービス別売上高・売上総利益、媒体メニュー別出稿件数・平均単価、媒体メニュー別売上高・売上総利益、業種別売上高、ソリューション別売上高・売上総利益、大型広告主の動向、連結子会社の動向、連単倍率につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。